

学 遊 歌

高い志を持ち、たくましく生きる子どもの育成
 酒田市立平田小学校だより 平成29年2月27日発行
 第44号

プロジェクトX (古いですが) ～いま、紹介したい児童会の取り組み～

いよいよ学年末になりました。この学校だよりが発行される頃には、卒業式までに2週間ほどとなります。このままインフルエンザ第2波などなければと思っているところです。それから、学年末となれば年間の総括に関わる集まりが多くなります。その度ごとに児童会での取り組みを話の中に入れていきます。それだけ意義深いことだとわたしは思い紹介したくなりました。それというのは…。

2学期の終業式の話(前号)でも触れましたが平田小学校自慢の「あいさつ」のレベルアップが児童会の課題にもなっていました。△反省すれば「良くなった」で終わり自己評価が甘いのではないかと。△方法を話し合えば「企画運営委員が〇〇すればいい」「自分たちがお手本になればいい」と発展がないのではないかと。△ちがうことをしないと結果は変わらない。そこで、児童会担当の佐藤順子教諭指導の下、企画運営委員のプロジェクトXが始まりました。「一人一人の意識を変えていくこと」に重点を置くことにしたのです。目的は「客観的に自分たちの挨拶を見つめる眼」「企画運営委員に任せない意識」「声を出す習慣化」のためです。そして具体的な取り組みは次の2つでした。

対策1 ; 全校児童があいさつ運動に取り組むこと。

対策2 ; 定期的に代表委員会を開催し、振り返りをおこなうこと。

これまでは、5・6年生の企画運営委員がポイントに立って挨拶を一生懸命呼びかけるのが通常に取り組んできたことでした。それが、全学年、1年生もやってみようということになったのです。そればかりではありません。その振り返りがあります。各学年が行った後の中間休みの時間に「あいさつ運動に伴う臨時代表委員会」を開きます。インフルエンザの影響で多少時期はずれましたが、2年生の最終日となった2月17日(金)にその様子を参観しました。まず、2年生がやってみての感想や反省点を発表します。それについて代表委員たちからのアドバイス。この会には次回担当となる1年生も参加します。この話し合いの中でさすが代表委員たちです。「こういう運動が終わってからもあいさつを続けること」とまとまりました。その後、1年生は本当に楽しそうにあいさつ運動に取り組んでいました。平田小学校児童会は「みんななかよく助け合い、あいさつと笑顔があふれる平田小」をスローガンにして1年間取り組んできました。2月21日(火)児童総会(後期)を開き、学年・委員会の活動の反省、それから「あいさつ」「いじめ0」をテーマにして話し合いました。「あいさつ運動をもっと長くすればいい」「いろいろな場面であいさつできるようになった」等の意見がどんどん出されました。今回のプロジェクト、担当によれば、劇的によくなったかと聞かれれば疑問符がつくとのこと。しかし、新たな取り組みをしたということに意義があるのです。児童総会の際に子ども達の話合いを聞く一方「あいさつすると何がいいのかな…」などと思いつめていました。そして、総会の最後に「校長先生の話」があるのですが、準備していた



5年生担当の様子

原稿と違う話がしたくなりました。なかなかうまく伝えられませんでした。担任になったつもりで次のようなことを伝えました。

あいさつ運動～どんな気持ちかな?～

日	月	学年	りん時代表委員会など	しようこう口	1
				目分選相手	目分選
12	木	6年			
13	金	6年			
14	土				
15	日				
16	月	6年			
17	火	5/6年	中間 代表、星の放送で報告・呼びかけ		
18	水	5年			
19	木	5年			
20	金	5年	中間報告		
21	土				
22	日				
23	月	4年			
24	火	4年			
25	水	4年	中間報告		
26	木	おひさま・まなび			
27	金	おひさま・まなび			
28	土				
29	日				
30	月	おひさま・まなび	中間報告、星の放送で報告		
31	火	3年			
1	水	3年			
2	木	3年	中間 代表、星の放送で報告・呼びかけ		
3	金	2年			
4	土	2年			
5	日				
6	月				
7	火	2年	中間 代表、星の放送で報告・呼びかけ		
8	水	1年			
9	木	1年			
10	金	1年	中間 代表、星の放送で報告・今後の活動		

各学年3日間ずつ輪番制でおこないました。

「あいさつをがんばるように言うけれど、あいさつをがんばると何かいいことがあるのか。確かにあいさつしたりされると気分はいい。でも、あいさつをがんばったからといって成績があがるわけでもない。欲しいものを買ってもらったりご褒美がもらえるわけではない。それなのになぜがんばる必要があるのか。ずっといろいろ考えている。今こんなことを思った。…私はスポーツが好きで野球やサッカーの選手が外国のチームに移籍した話題等関心を持ってきている。プロなのだから技術的にも体力的にもそんなに大きな差はないのではないかと思う。その中で成功する選手と活躍もなく帰国してしまう選手との違いは何か。サッカーの長友佑都選手が世界屈指のチームでなぜ成功できたか。それはコミュニケーション力だと思っている。彼はチームに「お辞儀」をはやらせた。そのコミュニケーションの始まりはあいさつ。コミュニケーションのスタートはあいさつなのだ。だから、みんなが将来どこに行っても誰と関わるようになってほしい。あいさつしコミュニケーションがとれるように今練習をしているのだ。」

さて、ご家庭ではどのように伝えることでしょう。道徳的な伝え方、実社会とつなげた伝え方等等考え方はいろいろあるわけですが、学校としては年度始め様々な場面でお伝えした通り

Q；あなたの学校はどんな学校なんですか？

A；はい、平田小学校は「あいさつ」と「歌声」の学校なんです。

とみんなの誇りとし伝統として心に根付いていくよう来年度も掲げていくつもりでおります。

さて、今年度の学校だよりも最終号となりました。これまで学校教育活動に常にご協力をいただきまして本当にありがとうございます。本紙面をかりまして深く感謝申し上げます。

6年生ありがとう ～全校がさらに仲良くなった日～

23日(木)は「6年生を送る会」が行われました。来年度中心となる5年生が協力して準備してきました。ひな壇に上った6年生は照れくさそうな笑顔。1年生から5年生までの各学年が、お世話になった6年生に音楽やメッセージの発表をしました。一つ一つの発表を6年生は真剣な表情で見っていました。その後、全校でゲームをしました。下級生とじゃんけんをする姿は、本当に面倒見のよさが伝わってきました。みんな仲良く楽しくゲームを行っていました。その後、6年生一人一人に作った色紙がプレゼントされました。色紙をもらった6年生は、書かれてあるメッセージに目を通していました。そのときの表情。なんとも言えないにこやかな笑顔でした。今まで優しくしてくれた6年生に感謝の気持ちが十分に伝わった、ほのぼのとしたあたたかい会となりました。

その日の昼休みはロング昼休みでした。インフルエンザの流行で延び延びになっていた全校なわとび集会が行われました。これは、1～6年生までが入った「なかよし班」で、決められた時間の中、長なわを何回跳べるか競うものでした。練習の時間があまり取れませんでした。1～6年生が息を合わせてがんばっていました。

2つの集会が行われたこの日、これまでも全校仲の良かった平田小が、ますます仲良くなったと感じた1日でした。6年生が平田小を巣立っていくまであとわずか。みんな仲良く過ごして、6年生も1～5年生も一つでも多くのよい思い出を作れたらと願っています。



4年生から合奏のプレゼント

ありがとうございます。

生石在住の阿部多治哉様より、朝日写真ニュースを1年分寄贈いただきました。毎週4枚の写真入りニュースが送られてきて、校務員室前の掲示板に掲示しています。子どもたちも喜んで見えています。感謝申し上げます。